

with コロナ…日本全体が少しずつスプリングバックして来て、動き出しましたね。
日本アピアランスセラピー協会も活動を始めます。
訪問美容だけでなく、情報発信、共有化を図って行きます。

【設立6年目を経て思うこと】

6年前の11月8日は、「協会設立パーティー」を開催しました。
(2015年11月8日)

1995年の阪神大震災から、メイクセラピーへの目覚め、

20年の時間をかけて2015年に

～美容を通じて心を元気にし、共に明かるい社会を創る～
『一般社団法人日本アピアランスセラピー協会』

を設立する運びとなりました。

6年目の一般社団法人日本アピアランスセラピー協会は、
全国の支部のみなさんと
世の中に必要とされる団体を目指して
パワーアップして参ります。

クリスマス、お正月気分もありますが、
しっかりと足下を固めて行くのが
新しい年を迎える心構えと思っています。

今回は福岡在住の協会会員、
服飾デザイナーである鈴木綾さんに
執筆をお願いしました。

マスク、手の消毒、ソーシャルディスタンス等、
自己防衛は必要ですが、お化粧品も楽しみましょうね。
来年度もどうぞ宜しくお願い致します。

一般社団法人日本アピアランスセラピー協会

代表理事 みきしほ

Shin Shin

イラスト:月与志

<http://tsuyoshi-jp.com>

鈴木 綾

Aya Suzuki

NPO法人エスプリロープ代表理事
アトリエエスプリロープ代表／服飾デザイナー

日本は戦後から洋服文化が定着しました。はじめはオーダーメイドで個人に合わせた服でしたが、現在では同サイズ同デザインの服が大量生産される既製の時代となりました。数多くのアパレル衣料が流通し、作っても売り切ることが出来ずに廃棄される衣服が溢れかえる状況においても、自分が着たい服かつ自分の身体に合う服が見つからず、満足に装うことが出来ない人々があります。



好きなものを身に付けられないことが続くことで、心はいつしか閉ざしてしまい夢も目標も抱けない精神状態に陥る人がいることを知り、服作りの仕事をしていた私は解決できる服作りの活動を始めました。10年目に入った昨年、様々な社会的孤立を防ぐための活動を行なうNPO法人エスプリロープを設立しました。

①身体も心も満足な装いの実現

どういう人になりたいのか、何に困っているのか、話を伺いながらデザインから製造まで一貫して行います。ご自分の装いを考えるやり取りをしていく過程で夢や目標が広がりその後の生活まで変化していきます。

②アダプティブファッションデザインスクール

就学が困難な障害のある方や、働くことが出来ず学ぶための費用を準備できない方の為のファッションスクールを開講しました。ファッションの基礎知識、商品企画を学びます。来年度はさらに内容を充実させる計画です。

③雇用を作るための活動

障害のある方や親の介護など外出が困難な方は就労が難しい状況にあります。様々な働き方が可能になることを実証できる仕組みを構築します。

介護の世界に身を置きたく、しばらく認知症の方々の施設でケアワーカーとして勤務をしていました。そこには、自分のことも家族のことも分らなくなったご高齢の方が、お世話をしてもらうばかりではなく、「役に立って生きたい」と過ごされている姿が沢山ありました。そして、私の周りの障害のある仲間たちも、誰もが誰かのために生きたいと願っています。みんなが幸福に生きる社会を作るためにこれからも活動を頑張ってまいります。

一般財団法人タカラ杉山社会福祉協議会

一般社団法人 日本アピアランスセラピー協会

～美容を通じて心を元気にし、共に明かるい社会を創ります～